

抱腹絶倒のドタバタ幕内コメディ
待望の再演!!

Edmond

by Alexis Michalik

あの「書けない男」が帰ってくる!?

〜『シラノ・ド・ベルジュラック』を書いた男〜



【作】アレクシス・ミシャリク

【上演台本・演出】マキノノゾミ

【出演】

加藤シゲアキ

村田雄浩 瀧 七海 細田善彦

福田転球 三上市朗 土屋佑亮 枝元 萌 佐藤みゆき 阿岐之将一

堀部圭亮 安蘭けい

【福岡市民ホール 開館記念】

2025年 **5.17** **18**日

福岡市民ホール
大ホール

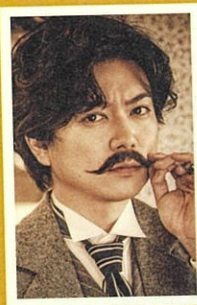
企画・製作・株式会社ハルコ

世界中で愛される、名作戯曲「シラノ・ド・ベルジュラック」の誕生秘話!

フランス・モリエール賞5冠に輝いた劇場愛にあふれる傑作、待望の再演!

STORY

1897年12月、パリ。2年も書けずに大スランプに陥っている詩人で劇作家のエドモン・ロスタン(加藤シゲアキ)ある日突然、大女優サラ・ベルナール(枝元萌)からの無茶振りにより、偉大な喜劇王コクラン(村田雄浩)に英雄的なコメディ詩劇の新作を書くことを約束してしまう。なんと初日は3週間後! ムッシュ・オノレ(堀部圭亮)のカフェで構想を練るが、まったく書けない……。衣裳係のジャンヌ(瀧七海)に恋する友人の俳優レオ(細田善彦)の恋愛相談に乗り、訳あり主演女優(安蘭けい)とプロデューサー兄弟(三上市朗・土屋佑亮)の気まぐれに振り回され、妻ロース(佐藤みゆき)に怒られ、ありとあらゆるトラフルに見舞われながら、舞台監督のリュシアン(福田転球)やコクランの息子ジャン(阿岐之将一)たちと稽古をはじめが……。エドモン・ロスタンの人生をかけた一世一代の創作、そのタイトルは……そう……「シラノ・ド・ベルジュラック」!!



加藤シゲアキ



村田雄浩



瀧七海



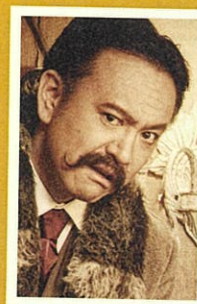
細田善彦



福田転球



三上市朗



土屋佑亮



枝元 萌



佐藤みゆき



阿岐之将一



堀部圭亮



安蘭けい

【福岡市民ホール 開館記念】

— FUKUOKA —

5月17日(土) 12:15 開場 13:00 開演
17:15 開場 18:00 開演
18日(日) 12:15 開場 13:00 開演

福岡市民ホール 大ホール

チケット一般発売 3月23日(日)

S席 12,000円 A席 10,500円

(全席指定・税込)

【チケット取扱い】

※チケット取扱いはWebのみとなります。

チケットぴあ(Pコード: 532-639)

<https://w.pia.jp/t/edmond2025/>



【福岡公演 ご注意】

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※本公演のチケットは主催者の同意のない有償譲渡が禁止されています。

※公演が中止となる場合を除き、お客様のご事情によるチケットの払い戻しはいたしません。

※車椅子でご来場予定のお客様は、あらかじめS席のチケットをご購入の上、

キョードー西日本(0570-09-2424 11:00-15:00※日曜日/祝日休)までご連絡ください。

◆お問合せ=キョードー西日本 0570-09-2424 (11:00-15:00※日曜日/祝日休)

主催: 読売新聞社/チケットぴあ九州 特別協力: 福岡市民ホール 制作協力: テイクコミュニケーションズ

作: アレクシス・ミシャリク 上演台本・演出: マキノノゾミ 翻訳: 堀切克洋 音楽: 斎藤ネコ 美術: 石原 敬 照明: 原田 保 音響: 清水麻理子 映像: 松澤延拓
衣裳: 三大寺志保美 ヘアメイク: 河村陽子 振付: 前田清実 アクション: 瀧美 博 歌唱指導: 満田恵子 演出助手: 金澤菜乃英 櫻井裕代 舞台監督: 松下清永
宣伝: ティップス・フラネット 宣伝美術: 榎本太郎 宣伝写真: 森崎恵美子 宣伝衣裳: 三大寺志保美 宣伝ヘアメイク: KEIKO(加藤シゲアキ) 河村陽子 宣伝映像: 尾野慎太郎
制作: 田口達佳 吉本未来 プロデューサー: 藤原 治 企画: 石井宏美 製作: 小林大介

企画・製作=株式会社バルコ

stage.parco.jp